

Lesson 31

①

① 《ファイル》タブを選択

② 《オプション》をクリック

※お使いの環境によっては、《オプション》が表示されていない場合があります。その場合は、《その他》→《オプション》をクリックします。

③ 左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択

④ 《リボンのユーザー設定》が《メインタブ》になっていることを確認

⑤ 《開発》を にする

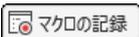
⑥ 《OK》をクリック

POINT !

マクロに関する作業を効率よく行うためには、リボンに《開発》タブを表示します。《開発》タブには、マクロの記録や実行、編集などに便利なボタンが用意されています。

②

① 《開発》タブを選択

② 《コード》グループの  (マクロの記録) をクリック

③ 《マクロ名》に「最終訪問日」と入力

④ 《マクロの保存先》が《作業中のブック》になっていることを確認

⑤ 《OK》をクリック

⑥ 「最終訪問日」の  をクリック

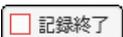
⑦ 《色フィルター》をポイント

⑧ 《セルの色でフィルター》の水色をクリック

※19件のレコードが抽出されます。

⑨ セル【A1】をクリック

※マクロに「セルA1に移動する」という操作を記録させるため、セルが選択されている場合でも、セル【A1】をクリックします。

⑩ 《コード》グループの  (記録終了) をクリック

POINT !

マクロ名の先頭は文字列にします。2文字目以降は、文字列、数値、「_ (アンダースコア)」が使用できます。スペースは使用できません。

POINT !

マクロの保存先には、次の3つがあります。

● 作業中のブック

現在作業しているブックだけでマクロを使う場合に選択します。

● 個人用マクロブック

すべてのブックでマクロを使う場合に選択します。

● 新しいブック

新しいブックでマクロを使う場合に選択します。

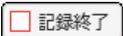
③

- ①《開発》タブを選択
- ②《コード》グループの  (マクロの記録) をクリック
- ③《マクロ名》に「リセット」と入力
- ④《マクロの保存先》が《作業中のブック》になっていることを確認
- ⑤《OK》をクリック
- ⑥セル【B7】をクリック
※表内のセルであれば、どこでもかまいません。
- ⑦《データ》タブを選択
- ⑧《並べ替えとフィルター》グループの  (クリア) をクリック
- ⑨セル【A1】をクリック
- ⑩《開発》タブを選択
- ⑪《コード》グループの  (記録終了) をクリック

④

- ①《開発》タブを選択
- ②《コード》グループの  (マクロの表示) をクリック
- ③《マクロ名》の一覧から「最終訪問日」を選択
- ④《実行》をクリック
- ⑤《コード》グループの  (マクロの表示) をクリック
- ⑥《マクロ名》の一覧から「リセット」を選択
- ⑦《実行》をクリック

⑤

- ①《開発》タブを選択
- ②《コード》グループの  (マクロの記録) をクリック
- ③《マクロ名》に「採用決定」と入力
- ④《マクロの保存先》が《作業中のブック》になっていることを確認
- ⑤《OK》をクリック
- ⑥「採用見込」の  をクリック
- ⑦《(すべて選択)》を にする
- ⑧「A」を にする
- ⑨《OK》をクリック
※8件のレコードが抽出されます。
- ⑩セル【A1】をクリック
※マクロに「セルA1に移動する」という操作を記録させるため、セルが選択されている場合でも、セル【A1】をクリックします。
- ⑪《コード》グループの  (記録終了) をクリック
- ⑫同様に、マクロ「検討中」「不採用決定」を作成

⑥

- ① 《開発》タブを選択
- ② 《コントロール》グループの  (コントロールの挿入) をクリック
- ③ 《フォームコントロール》の  (ボタン (フォームコントロール)) (左から1番目、上から1番目) をクリック
- ④ 始点から終点までドラッグして、ボタンを作成
- ⑤ 《マクロ名》の一覧から「最終訪問日」を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ ボタンが選択されていることを確認
- ⑧ 「1週間以上前に訪問」と入力
- ⑨ ボタン以外の場所をクリック
- ⑩ 同様に、ボタン「採用決定」「検討中」「不採用決定」「リセット」を作成して、マクロを登録

POINT

一度作成したボタンのサイズやボタン名を変更するには、**Ctrl** を押しながらクリックして選択します。

⑦

- ① ボタン「リセット」をクリック

⑧

- ① ボタン「1週間以上前に訪問」をクリック
- ② ボタン「採用決定」「検討中」「不採用決定」「リセット」を順番にクリック

⑨

- ① 《ファイル》タブを選択
 - ② 《エクスポート》をクリック
 - ③ 《ファイルの種類の変更》をクリック
 - ④ 《ブックファイルの種類》の《マクロ有効ブック》を選択
 - ⑤ 《名前を付けて保存》をクリック
 - ⑥ フォルダ―「学習ファイル」を開く
- ※《ドキュメント》→「Excel2021ドリル」→「学習ファイル」を選択します。
- ⑦ 《ファイル名》に「Lesson31完成」と入力
 - ⑧ 《ファイルの種類》が《Excelマクロ有効ブック》になっていることを確認
 - ⑨ 《保存》をクリック
 - ⑩ 《ファイル》タブを選択
 - ⑪ 《閉じる》をクリック

※お使いの環境によっては、《閉じる》が表示されていない場合があります。その場合は、《その他》→《閉じる》をクリックします。

10

①《ファイル》タブを選択

②《開く》をクリック

③《参照》をクリック

④《学習ファイル》が表示されていることを確認

※「学習ファイル」が表示されていない場合は、《ドキュメント》→「Excel2021ドリル」→「学習ファイル」を選択します。

⑤一覧から「Lesson31完成」を選択

⑥《開く》をクリック

⑦メッセージバーに《セキュリティの警告》が表示されていることを確認

⑧《コンテンツの有効化》をクリック

POINT

初期の設定では、マクロを含むブックを開こうとすると、セキュリティの警告を表示してマクロを無効にします。

マクロの有効・無効を設定する方法は、次のとおりです。

◆《ファイル》タブ→《オプション》→左側の一覧から《トラストセンター》を選択→《トラストセンターの設定》→左側の一覧から《マクロの設定》を選択→《マクロの設定》の一覧から選択

※お使いの環境によっては、《オプション》が表示されていない場合があります。その場合は、《その他》→《オプション》をクリックします。

11

①《ファイル》タブを選択

②《オプション》をクリック

※お使いの環境によっては、《オプション》が表示されていない場合があります。その場合は、《その他》→《オプション》をクリックします。

③左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択

④《リボンのユーザー設定》が《メインタブ》になっていることを確認

⑤《開発》を にする

⑥《OK》をクリック